



1

①植樹の参加者で記念撮影
②乳呑自然公園へエゾヤマザクラを植樹。植樹に参加した新藤愁弥君（白糠5年）は「サクラの苗木が重くて疲れましたが、土を耕す作業が好きなので楽しかったです」と話していました



2



3

③植樹を記念したキーホルダーの贈呈式。写真左から釧路ベイロータリークラブ幹事の横山豊さん、同クラブの千葉会長、川島教育長、白糠ロータリークラブの片山会長、同クラブ幹事の森武人さん

10月28日

エゾヤマザクラ植樹 ロータリークラブ

白糠ロータリークラブ（片山清孝会長）と釧路ベイロータリークラブ（千葉潔会長）は、ふるさと未来塾を受講している児童や中高生のしらぬかジュニアボランティアの生徒たちとともに、エゾヤマザクラ4本を乳呑自然公園内に植えました。

両ロータリークラブは、2017と2018年度に庶路学園の開校を記念して、同校敷地内に約300本のチシマザクラを植樹。その後、鹿害や土壌などの問題により、生育が困難な状況となったことから植樹地を乳呑自然公園に変更しました。同公園への植樹は、今年から3カ年の計画となっています。

また、両ロータリークラブでは、このたびの植樹を記念して360個のキーホルダーを作製。町内1～9年生まで354人に贈れるよう11月7日に教育委員会を訪問し、川島眞澄教育長へ手渡しました。



札幌の俳優さんたちが、各ポイントで市街劇

10月21日

秘められた歴史遺産を巡る ライブアートツアーin白糠

札幌の俳優さんが、まちに縁のある歴史上の人物などに扮して、秘められたエピソードやまちの特産品などを紹介する「ライブアートツアー」が白糠町を舞台に開催されました。

ツアーには町内外から11人が参加。参加者は「原半左衛門縁の地」や「軍馬補充部跡地」、「廃線跡地」などを巡り、市街劇を見ながら楽しく白糠の歴史に触れました。ツアーの様子は撮影され、その映像は、来年1月中旬以降に社会福祉センターを会場に上映する予定です。※上映会の日時は確定次第、「広報しらぬか」にてお知らせします。

10月28日

ピアノと歌を交え表現力豊かに 読み聞かせの会

今年結成40周年を迎えた「よみきかせの会☆星の子」による「ピアノと歌を交えた読み聞かせの会」が公民館で開かれました。この日は、星の子のメンバーのほか、情操教育指導者の山田陽子さんと斉藤弥音さんも出演。ふるさと絵本「ぼくはたいようのて」や「おべんとうばこのうた」など、ピアノ伴奏や歌を交えた読み聞かせを行いました。



ピアノとの連動した読み聞かせに胸を躍らせる子どもたち



イスに座ったまま曲のリズムに合わせて体を動かす「演歌ビクス」

10月28日

自身の体の健康チェック 健康まつり

「第18回しらぬか健康まつり」が社会福祉センターで開かれ、来場者が脳年齢チェックや骨密度、血管年齢など各種測定のほか、イスに座ったまま演歌の音楽に乗せて体を動かす「演歌ビクス」などを行いました。

この日、11時からは札幌孝仁会記念病院の溝江純悦氏が「最新の放射線がん治療～がん克服の鍵、切らずになおす最新の放射線治療～」と題して講演しました。

10月23日

白糠駅に生け花53年 新井田芳子さん表彰

白糠駅の待合室に生け花を53年間飾り続けたとして、JR北海道から新井田芳子さんに感謝状が贈られました。新井田さんは、四国から来た男性に「駅で花を見たのは初めて。とても美しい花が見られて旅の疲れも取れました」と声をかけられたのが思い出と話し、「喜んでくれる人がいるとうれしい。これからも駅に花を生け続けたい」と笑顔を見せていました。



表彰状を手に新井田さんとJR北海道の綿貫泰之社長（右）

10月30日

クラシック音楽に触れる 芸術鑑賞会

教育委員会主催の芸術鑑賞会が、庶路学園体育館で開かれました。出演したのは情操教育指導者の山田陽子さんと斉藤弥音さん、オペラ歌手の今野博之さん。

初めに、今野さんが迫力ある声で「闘牛士の歌」を熱唱。山田さんのピアノソロや斉藤さんの歌が披露され、最後は斉藤さんと今野さんのデュエット曲「愛を感じて（ライオンキング）」を児童生徒も一緒に歌いました。